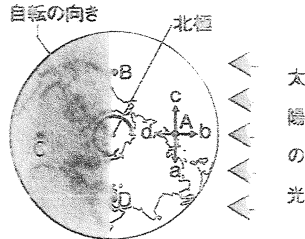


19	地球と宇宙 太陽と星の一日の動き	氏名	得点 点
----	---------------------	----	-------------

1 〈地球の自転と方位〉 図は、地球の北極
星から見たときの、地球と太陽の位置関係
と地球の自転を表したものである。図のと
き、日本はA地点にある。次の問いに答え
なさい。



	a
(1)	d
(2)	
(3)	
(4)	

- (1) A地点において、a、dが表している
方位は、それぞれ東・西・南・北のどれか。
- (2) A地点にある日本は、次のうちいつごろか。ア～エから選び、記号で答
えなさい。
ア 日の出 イ 日の入り ウ 正午 エ 真夜中
- (3) 地球が自転して日本がB地点にくるのは、図のときからおよそ何時間後
か。
- (4) 地球が自転して日本がDの位置にきたとき、太陽が見える方位は、東・
西・南・北のどれか。

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 図1は、日本 図1 A  B  C  D 
のある地点で、
東・西・南・北

の空の星の動きを一定時間記録したもので、矢印は星の動いた向きを表し
ている。A～Cは、それぞれどの方位の空の星の動きを記録したものか。

- (2) 次の①、②の文の()に当てはまる言葉は何か。②では、東から西、
西から東のどちらかで答えなさい。

① 星の1日の動きを観察すると、北の空の星は、(①)星(天の北極)を
中心として、1時間におよそ15°の割合で(②)回りに回転しているよ
うに見える。

② 星の動く向きは方位によってちがうが、空全体では、地球の地軸を延
長した軸を中心として、星のはりついた天球が(①)へ1日に1回転し
ているように見える。これは、地球が地軸を中心として、1日に1回、
(②)へ自転していることによって起こる。

- (3) 図2は、北の空に見えた北斗七星を、時間を 図2
において2回観察したときの位置を記録したもの
である。このとき、何時間おいて観察したか。



	A
(1)	B
	C
	①
(2)	②
	a
	b
(3)	